

令和5年度一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会事業報告及び附属明細書

[事業報告]

I 法人の概況

- 1 設立年月日 昭和25年3月6日(昭和37年1月29日財団法人認可)
平成25年4月1日から一般財団法人へ移行
- 2 定款に定める目的
この法人は、県内母子寡婦福祉団体の業務の円滑な推進を図り、ひとり親家庭の福祉の増進に努め、健全なる家庭生活の確立に寄与することを目的とする。
- 3 定款に定める事業内容
 - (1) 母子寡婦福祉推進に関する事業
 - (2) 母子家庭等就業支援対策(職業紹介事業を含む)に関する事業
 - (3) 母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令(昭和39年政令第224号)第6条に掲げる事業
 - (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 4 所管官庁
群馬県生活こども部県民活動支援・広聴課
- 5 会員の状況

前期末会員：	709	名
当期末会員：	665	名
増 減：	▲ 44	名
- 6 主たる事務所・施設の状況
主たる事務所：前橋市新前橋町13番地の12
県社会福祉総合センター5階

7 役員に関する事項

任期：令和4年5月27日～令和6年5月定時評議員会終結の時まで

役 職	氏 名	常勤・非常勤	担当職務・現職
理事長	高 田 啓 子	非常勤	藤岡市母子会長
副理事長	小 林 活 代	非常勤	沼田市母子会長
副理事長	宮 田 光 子	非常勤	れんげつつじ会長
副理事長	金 子 喜代子	非常勤	桐生市母と子の会長
常務理事	津久井 裕 美	常 勤	事務局長
理事	小此木 安 代	非常勤	伊勢崎市母子会長
理事	川 島 秀 子	非常勤	館林市母子寡婦会会計
理事	※1大 槻 正 子	非常勤	安中市母子会長
理事	※2矢 内 友 香	非常勤	玉村町母子会長
理事	松 井 千 明	非常勤	母子部長（伊勢崎市母子会）
監事	宮 田 紘 子	非常勤	れんげつつじ会副会長
監事	※3萩 原 八重子	非常勤	安中市母子会副会長

※1、3：R5.12辞任、※2：R5.9辞任

8 職員に関する事項

常 勤 職 員：2名（事務局2名）

非常勤嘱託職員：3名（就業・自立支援センター2名、ポルト1名（R5.8まで））

臨 時 職 員：1名（ポルト1名）（R6.1まで）

9 許認可に関する事項

一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会移行認可書

平成25年3月18日 群馬県指令 学 第20137-43号

平成25年4月 1日 一般財団法人へ移行

II 事業の状況

1 事業の実施状況

(1) 母子寡婦福祉推進に関する事業

ア 各種大会・研修会

- ① 令和5年度全国母子寡婦福祉研修大会への参加
期 日：令和5年11月18日（土）、19日（日）
場 所：長崎県佐世保市
参加者：理事長、事務局長
- ② 第76回関東地区母子寡婦福祉研修大会への参加
期 日：令和5年9月23日（土・祝）
場 所：東京都千代田区
参加者：理事長以下10名
- ③ 第71回母子家庭・寡婦福祉県民大会の開催
期 日：令和5年10月22日（日）
場 所：県社会福祉総合センター 大ホール
参加者：150名
 - ・第1回準備委員会
期 日：令和5年6月16日（金）
場 所：県社会福祉総合センター
議 題：開催要綱、大会宣言、決議等について
 - ・第2回準備委員会兼係員打合せ会議
期 日：令和5年10月6日（金）
場 所：県社会福祉総合センター
議 題：大会運営の最終確認、来賓等の参加状況と対応、
大会係員役割分担等について
- ④ 関東地区母子部長会議への参加
期 日：令和5年7月23日（日）
場 所：神奈川県横浜市
参加者：母子部副部長1名

イ 機関紙の発行

- ① 機関紙「母と子」の発行
機関紙「母と子」第91号を発行し、ひとり親家庭・寡婦に関する情報の提供をはじめ、福祉団体としての目的や事業等の周知を図った。
配布部数：2,300部
- ② 母子部「スマイル・スマイリー」の発行（共同募金助成事業）
令和5年5月に機関紙40号及び11月に41号の発行を通じて、イベントの周知や新たな支援制度等についての情報提供を行った。
配布部数：2,000部

ウ 公式ラインとHPリニューアルの運営

令和4年4月に供用開始したHPと公式ラインのPRに努め、母子会事業やその他の支援情報など必要な人に必要な情報がわかりやすく迅速・確実に届くよう情報提供を行った。HPの入力フォームやラインの活用により事業への参加や相談、照会など利用者の利便性向上を図るとともに、役員等への諸連絡、集計業務等事務の効率化を図った。

エ 母子と寡婦の交流・体験の実施

- ① おしゃべりカフェ（親）&マジック（子）（太陽誘電（株）・共同募金助成事業）
期 日：令和5年4月30日（日）
場 所：県社会福祉総合センター
参加者：親子13組 28人
- ② ひとり親家庭体験研修事業（県社協社会福祉振興基金事業）
期 日：令和5年7月22日（日）
場 所：キッズニア東京
参加者：親子40組 88人

- ③ 親子ふれあい交流事業（県受託事業）
ひとり親家庭の親子及び寡婦を対象に、母子家庭と寡婦の体験を深める講習会や明日の活力を助長するレクリエーション事業を実施するための経費の一部を助成した。
- ・講習会・体験事業：6事業
（参加者157人／母・父：55人、子ども：76人、寡婦：26人）
 - ・レクリエーション事業：8事業
（参加者304人／母・父：118人、子ども：160人、寡婦：26人）
- ④ 子どもの自然体験活動事業（子どもゆめ基金助成事業）
ひとり親家庭に不足しがちな自然に触れ親しむ体験活動を通して、こどもの心身の豊かな成長を促し、親子の交流を深めることを目的として実施した。
- 期 日：令和5年10月28日（土）～29日（日）
場 所：国立赤城青少年交流の家
参加者：親子18組 44人
- ⑤ お母さん旅行【実施せず】
期 日：令和5年11月4日（土）～5日（日）1泊2日
場 所：山梨県甲府市他
- ⑥ お母さんの東京観劇ツアー
期 日：令和5年7月7日（金）
場 所：劇団四季、築地市場ランチ
参加者：45人
- ⑦ ひとり親家庭親子交流・体験事業（共同募金助成事業）
ひとり親家庭の親子が、親子間の交流を深めるとともに児童の健全育成につなげるため、親子で体験を共有する親子参加型イベントを実施した。
- ・親子で体験！使える英語体験プログラム
期 日：令和5年11月18日（土）
場 所：前橋商店街まちなかサロン
参加者：親子2組 4人
- ⑧ ひとり親家庭無料学習支援事業（県からの受託事業、玉村町からの受託事業、共同募金助成事業）
ひとり親家庭の子どもの「学校と家庭以外の居場所づくり」を基本とし、児童の健全育成や保護者同士の情報交換・交流を図った。
- 教 室：県内3教室（前橋、玉村、高崎）
対 象：ひとり親家庭の小学生（5教科）
期 日：令和5年5月13日（土）～令和6年2月24日（土）（週2～3回）
場 所：県ぐんま男女共同参画センター、玉村町西児童館、高崎市中央公民館
参加者：児童39人
- ⑨ ローソン(株)による「夢を応援基金」給付型奨学金事業
平成29年7月に開始された返還不要の給付型奨学金。令和5年度は全国で400名が奨学生に選考された。本県では39名の応募があり、一次審査（書類審査）、二次審査（面接・作文）を県母子会で行い、全国母子寡婦福祉団体協議会（全母子協）に推薦を行った。最終的に6名が合格し、全母子協から奨学金が支給された。
- 対 象：ひとり親家庭の中学3年生～高校3年生（収入条件等あり）
給付額：年間36万円（3万円／月×12月）
- (2) 母子家庭等就業支援対策（無料職業紹介事業を含む）に関する事業
- ア 群馬県母子家庭等就業・自立支援センター（無料職業紹介事業を含む）事業
- ① 群馬県母子家庭等就業・自立支援センター事業（県、前橋市、高崎市受託事業）
ひとり親家庭等の社会的自立を促進するため、職業紹介をはじめとして、就業相談員による就業支援、求人情報の提供、講習会など一貫した就業支援サービスを総合的に提供し、ひとり親家庭の母（父）及び寡婦の自立を支援した。
- また、弁護士による養育費相談会や就業支援のためのパソコン講習会等を開催した。
- ・就業支援 就業相談：166件
 - ・パソコン講習会
期 日：令和5年10月1日（日）～11月19日（日）計8回
場 所：中央総合学院TAC群馬校（前橋市）
参加者：14人

- ・相談関係職員研修会
 - 期 日：令和6年1月9日（火）
 - 場 所：県社会福祉総合センター
 - 講 師：カウンセリングオフィスハルモニア 代表 鈴木浄美 氏
 - テーマ：「マイナス感情とどう向き合うか」
 - 参加者：19人
- ・弁護士による養育費等無料相談会実施
 - 期 日：令和5年6月17日（土）、11月 4日（土）
令和6年2月10日（土）、 3月27日（水）
 - 場 所：県社会福祉総合センター
 - 相談者：16人
- ・養育費相談
 - 相談件数：115件
 - その他関係機関と連携・協力し、ひとり親家庭の就労の推進を図った。
 - ※市町村への出張相談会の実施：17市町村で延べ20回、相談者55人
- ② 群馬県自立支援プログラム策定事業（県・前橋市・高崎市受託事業）
 - 児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々のケースに応じた自立支援計画書を策定し、これを基に市町村担当課やハローワークと緊密に連携することで確実な就業・自立支援を行った。
 - 支援計画策定件数：4件
- ③ 群馬県養育費等確保支援事業
 - 養育費の確保支援のため、公正証書等の作成に必要な経費等について補助を行った。
 - ・申請件数：8件
- (3) 母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令第6条に掲げる事業
 - ア 収益事業
 - ① 軽食喫茶経営
 - 県社会福祉総合センター1階において、軽食喫茶「ポルト」を営業し、喫茶軽食の提供及び会議用弁当の取次ぎ等を行って来たが、コロナ禍以降の利用低迷、修繕費・電気代の高騰等により赤字が拡大。令和5年8月に年度内の廃止を決定し、令和5年12月28日をもって閉店、令和6年3月31日をもって廃止した。
 - ② 自動販売機の設置
 - バイシア文化ホール、群馬の森、県社会福祉総合センター、ぐんまこどもの国児童会館、県総合スポーツセンター、ぐんまアリーナ、県青少年会館（R5.8撤去）、館林市つつじが岡公園、群馬中央病院、伊勢崎土木事務所、Gメッセ群馬、東部児童相談所、中央児童相談所、県立小児医療センター（R5.9設置）
 - 設置台数：34台
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - ア 市町村母子福祉団体幹部・事務担当者研修会
 - 期 日：令和5年4月26日（水）
 - 場 所：県社会福祉総合センター
 - 参加者：11団体23人
 - イ 各種団体に対する要請
 - ① 群馬県社会福祉総合センター団体の群馬県への団体要望
 - 令和5年8月に、県に対し、自動販売機設置の要望を行った。
 - ② 自民党政調会に対する要望
 - 令和5年9月に、自民党政調会に対し、自動販売機設置の要望を行った。
 - ③ 県・県教育委員会に対する要望
 - 令和5年11月に、群馬県女性団体連絡協議会を通じて県及び県教育委員会に対し、ひとり親家庭の正規雇用策の充実等5項目の要望を行った。

2 役員会に関する事項

(1) 理事会の開催

① 5月理事会

期 日：令和5年5月17日（水）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和4年度事業報告及び決算報告、旧「県母連」出捐金の使途等について

② 8月臨時理事会（書面開催）

期 日：令和5年8月1日（火）

提案事項：軽食喫茶ポルトの廃止等について

③ 10月理事会

期 日：令和5年10月6日（金）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：理事長及び常務理事の職務執行状況報告等について

④ 3月理事会

期 日：令和6年3月13日（水）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和6年度事業計画及び収支予算等について

(2) 評議員会の開催

① 5月評議員会

期 日：令和5年5月27日（金）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和4年度決算報告、事業報告及び旧「県母連」出捐金の使途等について

② 8月臨時評議員会（書面開催）

期 日：令和5年8月15日（火）

提案事項：軽食喫茶ポルトの廃止について

③ 3月評議員会

期 日：令和6年3月22日（金）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和6年度事業計画及び収支予算、定款の変更について

(3) 正副理事長会議の開催

① 第1回

期 日：令和5年7月26日（水）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：軽食喫茶ポルトの廃止等について

② 第2回

期 日：令和6年2月3日（土）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和6年度事業日程、事業案、県民大会、今後の運営方針等について

(4) 母子部関係会議の開催

① 第1回代表者会議

期 日：令和5年4月30日（日）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について

② 第2回代表者会議

期 日：令和6年2月3日（土）

場 所：県社会福祉総合センター

議 題：令和5年度事業の進捗状況及び令和6年度事業の検討について

Ⅲ 法人の課題

1 会員の減少対策

若年母子・父子世帯に対し、いかに会への加入促進を図るか。また、限られた予算・人員体制の中、いかに加入継続を図るか。

[事業報告の附属明細書]

1 会員数の内訳

令和6年3月31日現在、単位：人

市部	会員数	町村部	会員数	※個人会員	会員数
れんげつつじ	30	長野原町	33	前橋市	25
粕川シクラメン	26	東吾妻町	60	高崎市	30
新町	57	片品村	34	渋川市	4
桐生市	45	みなかみ町	0	富岡市	1
伊勢崎市	39	玉村町	5	安中市	5
太田市	82	明和町	18	榛東村	3
沼田市	30	千代田町	3	吉岡町	1
館林市	55	大泉町	19	草津町	1
藤岡市	24			甘楽町	1
みどり市	33			みなかみ町	1
計	421	計	172	計	72
県合計	665				

※板倉町はR5.9解散、安中市はR5.12解散、太田市はR6.3.31解散
 ※個人会員は市町村母子会のない市町村の会員

2 ひとり親家庭無料学習支援事業

(1) 教室開催状況

教室名 参加児童数 A	開催回数 ①	児 童		講 師		児童一人当たりの講師数 ⑤/③
		延べ参加数 ②	1回当たり参加人数③ ②/① 平均出席率 ③/A	延べ参加数 ④	1回当たり参加人数⑤ ④/①	
前橋教室 15人	19回	183人	9.6人 64.0%	175人	9.2人	1.0人
うちわライン 3人	19回	26人	1.4人 46.7%	26人	1.4人	1.0人
玉村教室 8人	26回	107人	4.1人 51.3%	168人	6.5人	1.6人
高崎教室 16人	19回	120人	6.3人 39.4%	148人	7.8人	1.2人
合計 39人	64回	410人	6.4人 51.3%	491人	7.7人	1.2人

(2) 参加児童の学年別内訳

教室名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中・高校	計	備 考
前橋教室 (うちわライン)	0人	0人	42人	42人	73人 (4人)	26人 (12人)	0人	183人 (16人)	県予算
玉村教室	22人	37人	3人	0人	30人	15人	0人	107人	町予算
高崎教室	27人	2人	2人	16人	32人	29人	12人	120人	共同募金
合 計	49人	39人	47人	58人	135人	70人	12人	410人	

